

可動棚板セット セレクトシリーズ Bタイプ 施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL(087)825-3632 TEL(087)806-3660 TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3695 FAX(087)825-3645 FAX(087)825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム 中四国営業チーム 九州営業チーム	TEL(087)825-3623 TEL(087)825-3624 TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3647 FAX(087)825-3648 FAX(087)825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

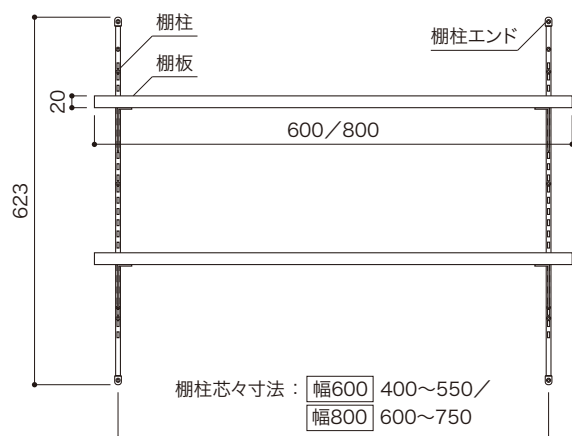
取付完成図

寸法単位:mm

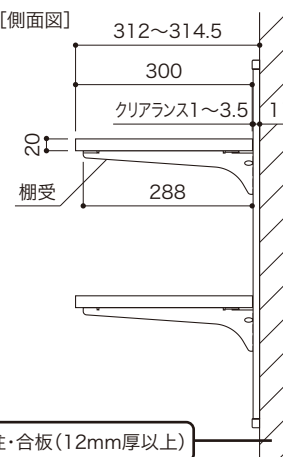
棚柱芯々寸法の範囲内で、下地があるところに棚柱を取り付けてください。

幅600/幅800

[正面図]

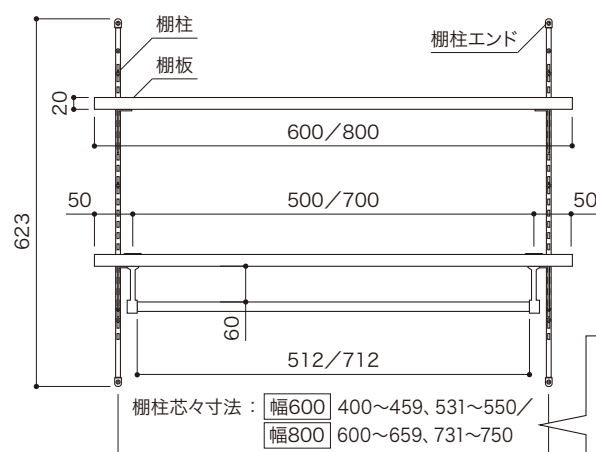


[側面図]



幅600/幅800 ※パイプ(別売品)を取り付ける場合

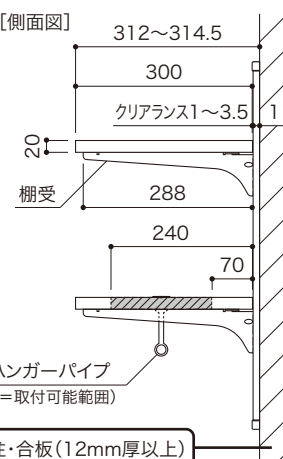
[正面図]



※ 棚柱芯々寸法：
幅600 460~530
幅800 660~730

の範囲で施工すると、棚受とパイプが干渉するため、パイプのカットが必要になります。

[側面図]



取り付けの前に

取り付ける壁面には、下地(柱・合板12mm厚以上・もしくはそれと同等以上)が必要です。
必ず下地をご確認の上、取り付けてください。

ご注意

- 取り付けできない壁面には絶対に取り付けしないでください。落下・転倒により、ケガや破損のおそれがあります。
- 取り付けの際、本体に衝撃を与えないようにご注意ください。

取扱説明書

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



注意



棚板の上に乗らない。

安全のため製品には乗らないでください。
ケガ・死亡のおそれがあります。



パイプにぶらさがらない。

パイプにぶらさがらないでください。
破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



部品が確実にに取り付いているか確認。

部品が確実にに取り付いていることを確認してください。
取り付けが不十分な場合、部品・収納物が落下してケガをするおそれがあります。



耐荷重の目安を必ず守る。

重量物を収納すると棚板が破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
(下記 耐荷重の目安値 をご参照ください。)

ご使用上のお願い



水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。



粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



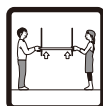
洗剤・薬品などの付着に注意する。

洗剤類や薬品類、石けんが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置すると表面化粧のシミや変色、木口材の変形や割れの原因となります。



スプレー塗料での補修禁止

傷や汚れの補修をスプレー塗料で行なわないでください。
表面化粧仕様のため、後から塗料がはがれます。



棚板の移動は一人では行なわない。

棚板のレイアウトを変更する時は、1人で行わず安全のため2人で抜け止めを手前に引きながら行って下さい。

耐荷重の目安値

本製品は基本的に重量物を収納するために設計されておりません。耐荷重値以内の収納物であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。

記載の耐荷重値は等分布荷重の場合の値です。また、棚板についてはセットの棚板を使用した場合の計測結果をもとにしております。
それ以外の条件にてご使用の場合はこの限りではありません。

パーツ	耐荷重の目安値
棚板	10kg 上吊ハンガーパイプありの場合、合計10kg(注)
上吊ハンガーパイプ	5kg

上記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。
(注) 棚板に載せる物の重さと上吊ハンガーパイプに吊り下げる物の重さの合計です。

お手入れについて



日常のお手入れ方法

木質

乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

金属部

市販のクリーナーを使用して乾いた柔らかい布でお手入れしてください。
但し有機溶剤や研磨剤の入ったものは錆び、剥離の原因となります。



換気をしてください。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行ってください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この製品の材料は右記の通り自主表示登録を行なっております。

発散等級区分: F☆☆☆☆

製品名: アートランバー



この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

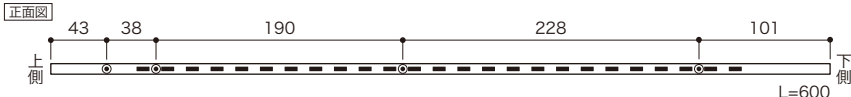
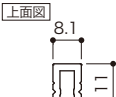
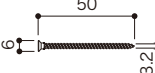
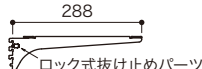
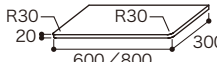
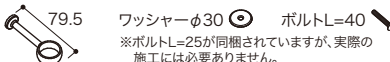
製造者: 南海プライウッド株式会社
お問い合わせ先 品質管理チーム
TEL 087-894-8025

(一社)日本建材・住宅設備産業協会表示登録

発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-000091
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問合わせ先	https://www.kensankyo.org/

セット内容

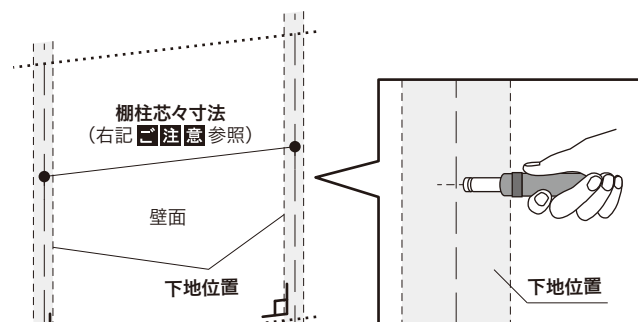
※以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

棚柱	棚柱		棚柱エンド	ビスL=50
	正面図 	上面図 		
	2本		4個	12本
棚受	棚受	棚受用ビス	棚板(幅600/幅800)	
				
	計4本(左右各1本×2セット)	計8本(4本×2セット)	2枚	
パイプ (別売品) 上吊ハンガー	パイプ	ブラケット		
				
	1本	2セット		

取り付け手順

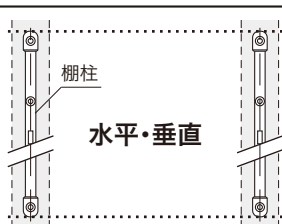
1 取り付け位置の墨出し

取り付け予定位置の下地を確認し、墨出しをします。
※下地チェッカーなどを使って下地があるか確認してください。



【注意】

左右の棚柱が水平に取り付くよう、水平・垂直をご確認のうえ、墨出ししてください。



【注意】

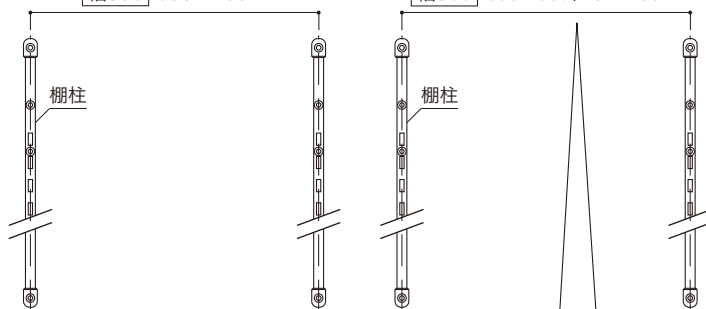
棚板のサイズやパイプの有無によって、棚柱芯々寸法が異なります。

パイプ無しの場合

棚柱芯々寸法：
幅600 400～550/
幅800 600～750

パイプ(別売品) 有りの場合

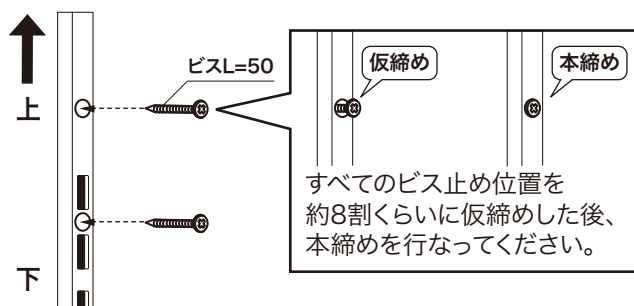
棚柱芯々寸法：
幅600 400～459, 531～550/
幅800 600～659, 731～750



※ 棚柱芯々寸法: 幅600 460～530
幅800 660～730
の範囲で施工すると、棚受とパイプが干渉するため、パイプのカットが必要になります。

2 棚柱の取り付け

墨出し位置にあわせて、棚柱をビスL=50で取り付けます。

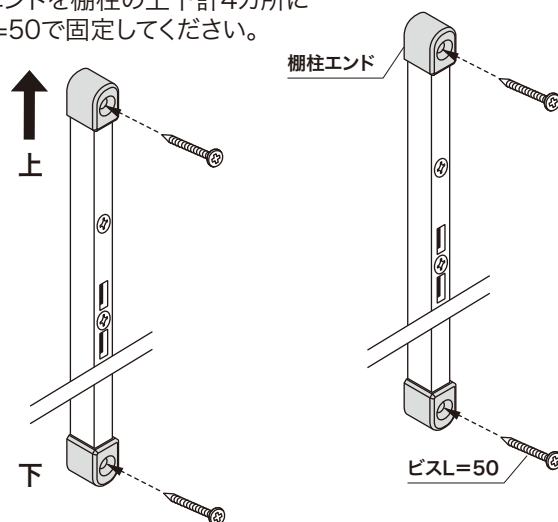


【注意】

棚柱の上下にご注意ください。棚柱の端部にビス穴が2箇所ある方を上側にしてください。

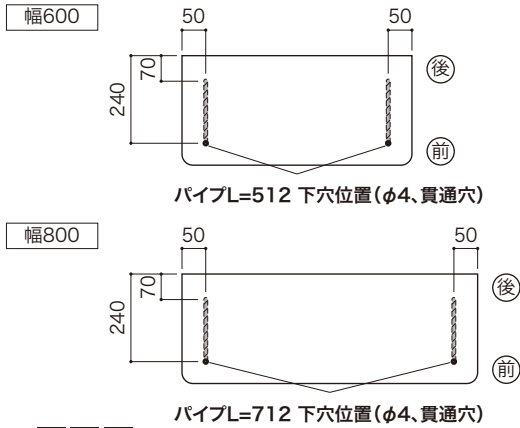
3 棚柱エンドの取り付け

棚柱エンドを棚柱の上下計4カ所にビスL=50で固定してください。



4 棚板の加工 (パイプ (別売品) を取り付ける場合のみ)

パイプを取り付ける棚板に、下穴(φ4、貫通穴)を2箇所開けます。

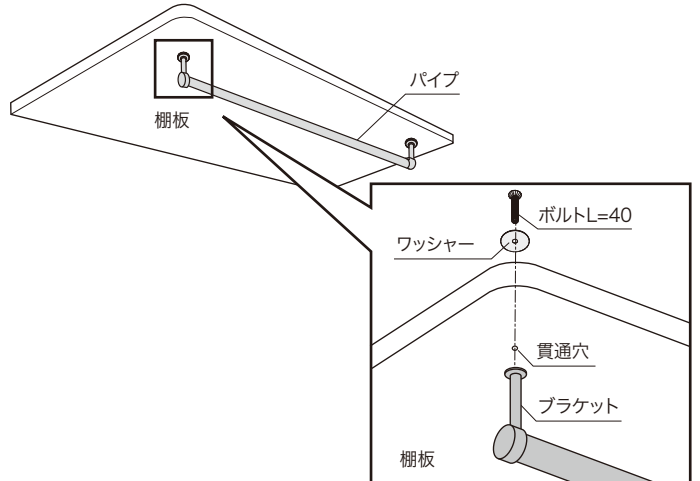


ご注意

- 棚板のサイズによって、下穴位置が異なります。
- 下穴 (φ4、貫通穴) は棚板後面から70~240mm (上図 斜線) の範囲に開けてください。

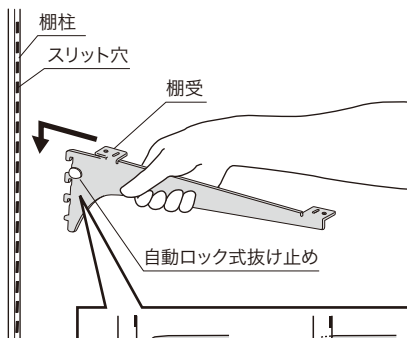
5 パイプの取り付け (パイプ (別売品) を取り付ける場合のみ)

パイプをブラケットに取り付け、4 で開けた貫通穴にボルト L=40 で取り付けてください。



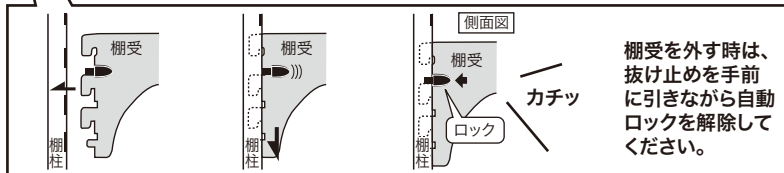
6 棚受の取り付け

棚柱のスリット穴に棚受を差し込み、爪部をしっかり落とし込んでください。左右の棚受は同じ高さに取り付けてください。

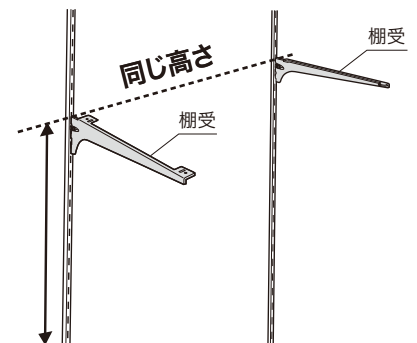


ご注意

棚受はツメが内に向くように取り付けてください。

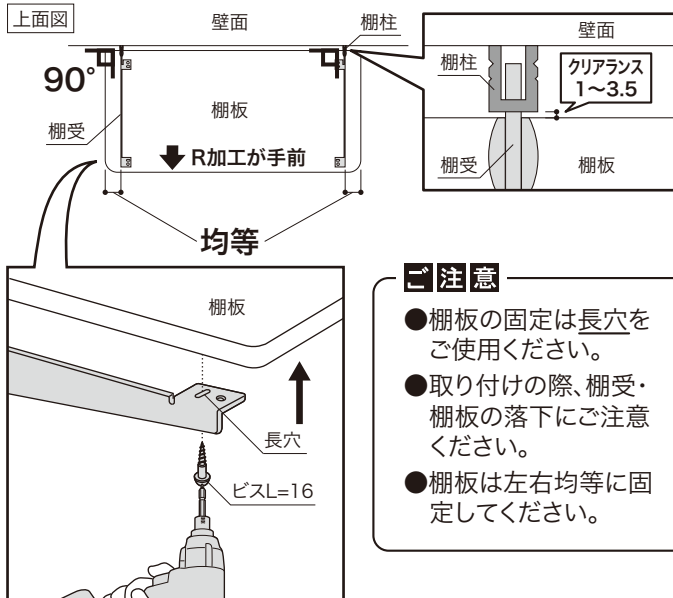


棚受を外す時は、抜け止めを手前に引きながら自動ロックを解除してください。



7 棚板の取り付け

棚受の上に棚板を載せて、ビス L=16 で止めてください。



ご注意

- 棚板の固定は長穴をご使用ください。
- 取り付けの際、棚受・棚板の落下にご注意ください。
- 棚板は左右均等に固定してください。

完成 棚板の移動 (確認作業)

棚板を上下に移動し、スムーズに可動できるかの確認を行なってください。

※棚板を移動する際に、棚受の爪部が棚柱に入りにくい場合は、棚受のビスを少しゆるめて調整してください。

